

2001年度 日本エイズ学会第2回理事会 議事録

日時：平成13年11月28日（金）午後4時～6時30分
場所：北とぴあ 8階 802会議室

出席者：木村 哲，味澤 篤，生田和良，市川誠一，内山卓，内海 眞，木原正博，小柳義夫，高田 昇，橋本修二，福武勝幸，松下修三，三間屋純一，安岡 彰，吉崎和幸，上田重晴（監事），以上16名
委任状提出者：池上千寿子，岩本愛吉，倉田 毅，五島真理為，以上4名

オブザーバー出席者：速水正憲（2000年度学術集會会長），岡本 尚（2002年度学術集會会長），岡 慎一（2001年度学術集會事務局），福田 博（日本学会事務センター），山本暖子（2001年度学術集會事務局），以上5名

議 題**（報告事項）**

- 1) 会員現況・逝去委員（報告者：木村理事長）
会員現況（昨年同期より63名増，団体を含む合計会員数：1,487名）・逝去会員（1名）の説明がなされた。
- 2) 2001年度会計中間報告（報告者：福武理事）
2001年度会計中間報告について，主な項目を中心に説明がなされた。
- 3) 日本エイズ学会誌発行状況（報告者：山本理事の代理，市川理事）
同誌は順調に発行され，編集も順調に進んでいるが，投稿論文のさらなる増加が重要であると報告された。学術集會での座長の推薦演題に対して論文投稿を勧めることを，今後も実施していくことが確認された。同一論文の本誌と他英文誌の両方での掲載について意見交換がなされ，編集委員会で引き続き検討することとなった。
- 4) 第15回日本エイズ学会学術集會（報告者：木村2001年度学術集會会長）
多くの演題が集まっていること等が報告され，多くの参加者を迎えて，実り多い学術集會になることを期待していること，および，そのために関係各位にご協力をお願いしたい旨の発言がなされた。また，特別講演1のDr. Hoのスケジュールの関係から，総会と特別講演1の開催順序を入れ替えることが報告された。

- 5) 第16回日本エイズ学会学術集會準備状況（報告者：岡本2002年度学術集會会長）

第16回日本エイズ学会学術集會の準備状況が報告された。会期は2002年11月28日（木）～30日（土），会場は名古屋国際会議場であること，テーマ，実行・運営・プログラム委員会，予算案などが報告された。会長講演について，意見交換がなされ，今後とも，担当の学術集會会長の判断に任せることが確認された。日本医学会の分科会への指定について，引き続き申請を行うことが確認された。

6) その他

1. ホームページについて（報告者：高田理事）

ホームページが開設されたこと，日本エイズ学会誌の過去の掲載論文の掲載，専門家Q&Aの開設などの準備を進めていることが報告された。学術集會の抄録集を掲載すること，メーカーの広告掲載は当面検討しないことおよび経費と予算が確認された。

2. 第7回アジア・太平洋エイズ国際会議について（報告者：吉崎理事）

同国際会議の準備状況が報告された。同国際会議は大阪大学の岸本忠三総長を会長とし，2003年11月末頃に神戸で開催する方向で検討が進められている。本学会はいろいろな面で積極的に協力することが確認された。

3. HIV検査に関する要望書について（報告者：福武理事）

HIV関連検査の正しい利用方法と保険適用に関する要望書が，本学会理事長と日本臨床検査医学会会長から，日本医師会会長へ提出されたことが報告された。同要望書は本学会理事全員から意見聴取を行って作成されたものであり，主な内容はスクリーニング検査が陽性の場合の確認検査としてウエスタンブロット法とHIV-1核酸増幅定量精密検査（RT-PCR法）を併せて行えること，および，スクリーニング検査が判定保留あるいは急性期の診断の場合にRT-PCR法を行えることである。

（審議事項）

- 1) 2000年度決算

2000年度決算および「日本エイズ学会ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞」2000年度特別会計・決算について，福武理事から報告され，上田監事から正確妥当であったという監査結果が報告され，いずれも承認された。

- 2) 2002年度予算案

2002年度予算案について，福武理事から説明され，同案が承認された。

3) 第17回日本エイズ学会学術集会会長候補の選出

第17回日本エイズ学会学術集会会長候補の選出について審議され、第7回アジア・太平洋エイズ国際会議開催との関係から関西地区であって、また、社会医学系が望ましいという意見に従い、京都大学大学院医学研究科教授の木原正博理事が全員一致で推薦され、木原理事の内諾も得た。(追記：本件は翌2001年11月29日(木)の総会において、承認された。)

4) 第2回ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞について

第2回ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞について、同選考委員会委員長の生田理事から選考結果が説明され、木村理事長から理事の持ち回り審議結果が報告された。受賞者として、大阪大学微生物病研究所の中山英美氏(受賞対象テーマ：ゲノム多型解析によるHIV-1感染とエイズ病態に関わる宿主因子の検索)および東京大学医学部附属病院の吉田 敦氏(同：CMV感染症におけるreal-time PCR法を用いたCMV遺伝子定量の有用性)の2人が承認された。(追記：本件授賞式は翌2001年11月29日(木)の総会において行われ、木村理事長から賞状と賞金が受賞者に手渡された。)

5) 総会における報告の担当について

総会の進め方と報告担当理事が確認された。また、総会において、第2回ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞の授賞式と記念講演を実施することが確認された。

6) その他

1. 評議員氏名リストの会誌掲載について

評議員氏名リストの会誌掲載については、評議員会での審議が必要という意見が出された。次回の総会の前に評議員会を開催すること、および、そのときに同件を審議することとなった。

2. 日本エイズ学会学術集会の開催時期について

本学会学術集会の開催時期はこれまで12月1日前後であったが、12月1日が世界エイズデーで、各地で催しが開かれることが多く、参加が難しい場合があるとの意見があり、今後、検討していくこととなった。

3. その他

ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞について、候補者の募集時期を早めること、選考委員会委員長から推薦依頼を行うこと、および、選考規定における候補者の推薦を現行の理事1人から理事もしくは評議員1人に広げるように改正することとなった。

以上